

情

報

局

編

輯

日

六

廿

三

第

八

號

年

十

工作順序

駐子打

棋

上

下

直

の

# 高嶺週報



日本の強さを  
君等は正しく學ぶのだ  
日本の美しさを  
貴女が正しく學ぶのだ  
學生諸君  
君等の勤勞は日本の勝利への道である

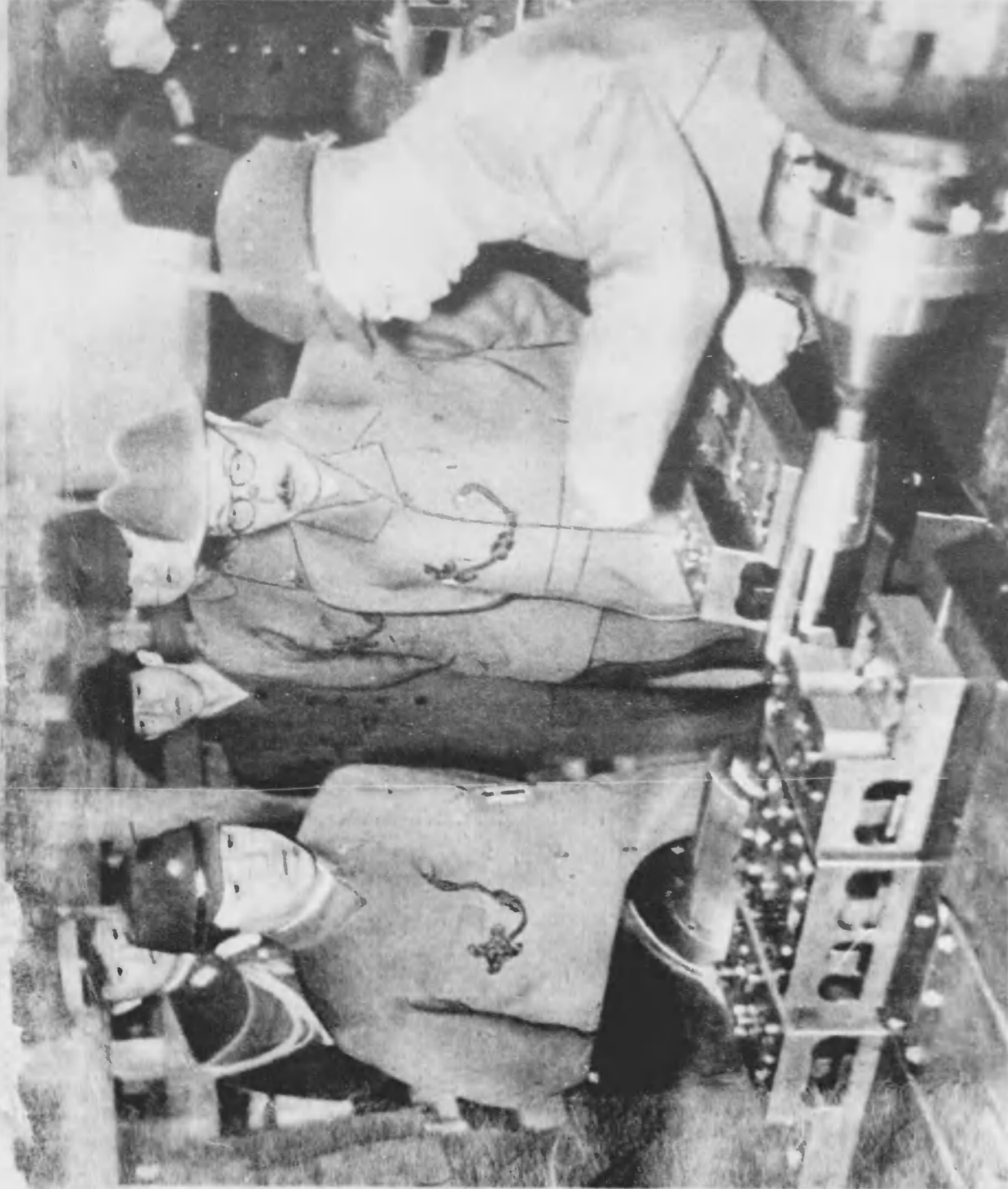
札立の時



# 大臣愛蔵生活視察

## 「増産の陣頭に」東條内閣総理大臣愛蔵五巻へ

片時も暇を容れられない増産はますますつづいておるかなと、東條総理大臣は神奈川県の浦賀練土所  
 ○工場を各巻訪問。戦時増産を現場の状況に熱心に視察し折々入所してきか新機軸に「諸君  
 とともに戦うぞから」と力強い演説の言葉をこぼした中央、東條内閣総理大臣（四月八日）



## 描点間週

農産物では、食糧増産の有利き思想をもつて 供出削減量を突破し、○○・〇九%に達す。 共性強化、本端配給機構の刷新と、生産より配  
 御料地、宮城外海の御貸上げ、使用を義務する。 思ふべし農家の異常なる努力と努力を 給への決意路開く  
 軍艦投しとみ取われら誓つて食糧決戦に勝ち抜 かん ×  
 魚、野菜の出荷配給の改善を目指し、生鮮食料 日給も女子挺身隊結成。 学校勤労本部の新設と  
 品供給確保の新方策決定す。生産出荷に知事 界岡青島健男、全く成る。 目指すは勝利への二  
 昭和十八年度産米の供出、四月九日をもって全 責任制を、大消費地の中核的市街卸賣機構の公 途あるのみ

## 「内務大臣も手紙」 新の給米事業に愛蔵内務大臣

築地の第一種炊飯車のチームにお客と膝を交えて話し炊飯井をわ  
 へ大臣「これはらまじと講義さうに宮殿」在陣、安藤内務大臣（四  
 月七日）



## 「学校の御飯はおいしい」 閣僚支那大臣學校を視察

四月一日から始まつた卒業給食はどうかと、おひる時の  
 芝罘白金岡長學校に表を見せた閣僚支那大臣は「一年生の給食  
 で「イタダキマス」と可愛い聲ばかりこまれて嬉しきらー  
 左端、閣僚支那大臣（四月十三日）



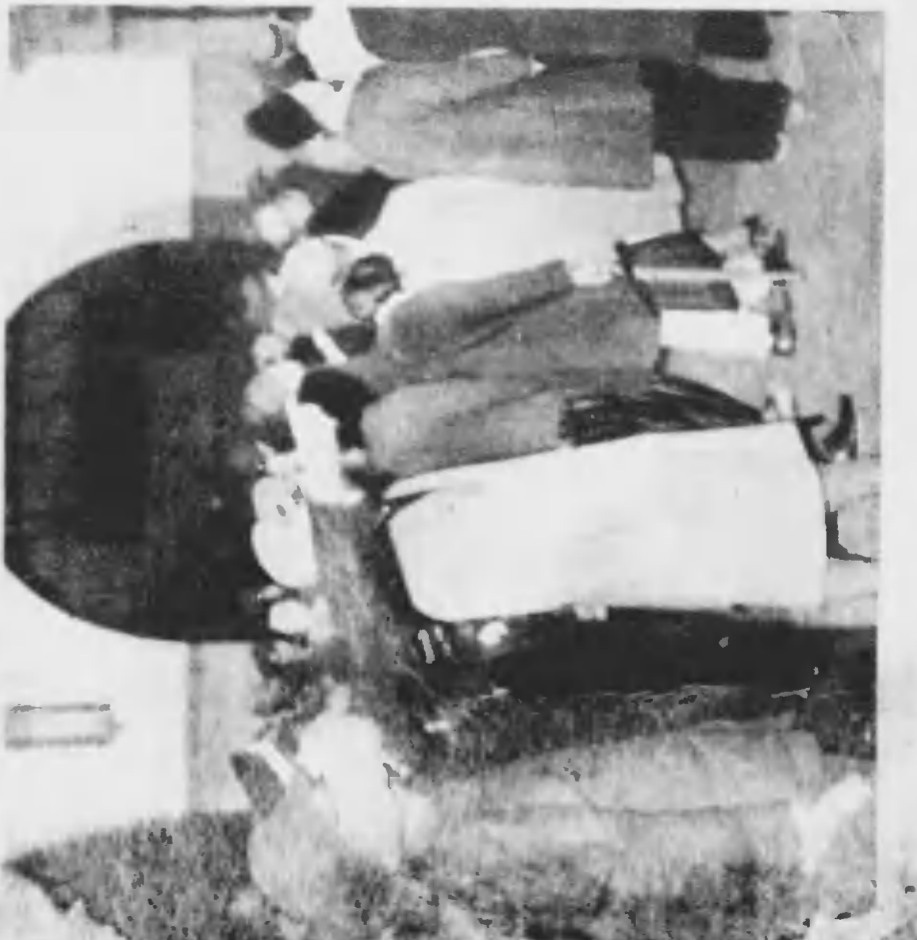
## 「これなら大丈夫」 中條内務大臣横穴式防壁を視察

「...救済人員はどのくらいと、精神力は」念慮に設置されておる機  
 を熱心に偵分する大臣はまづくらな次のなかでいかにも頼もしきらた  
 つた上芝罘内の横穴式の工事場を見る大臣（四月七日）

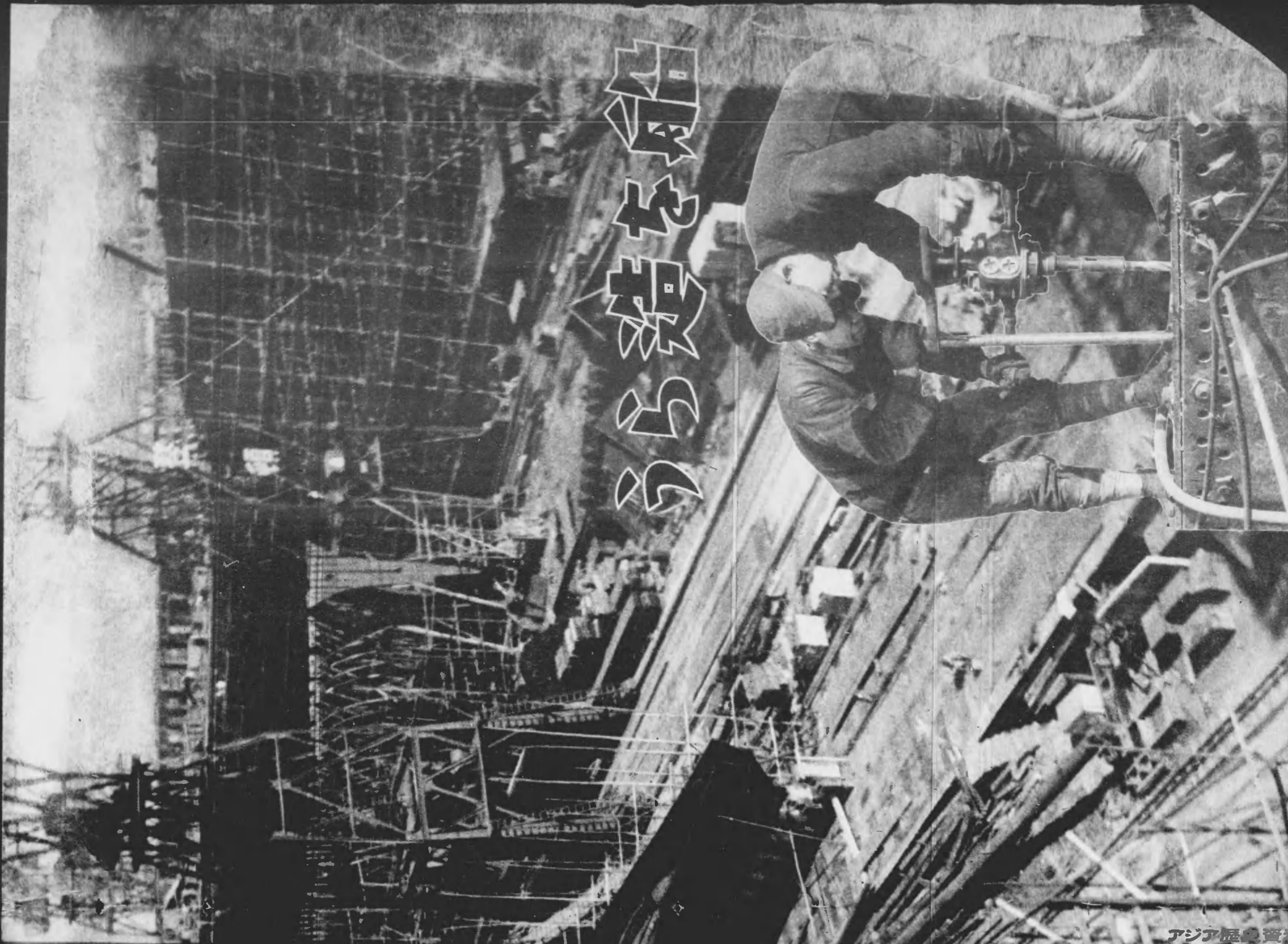
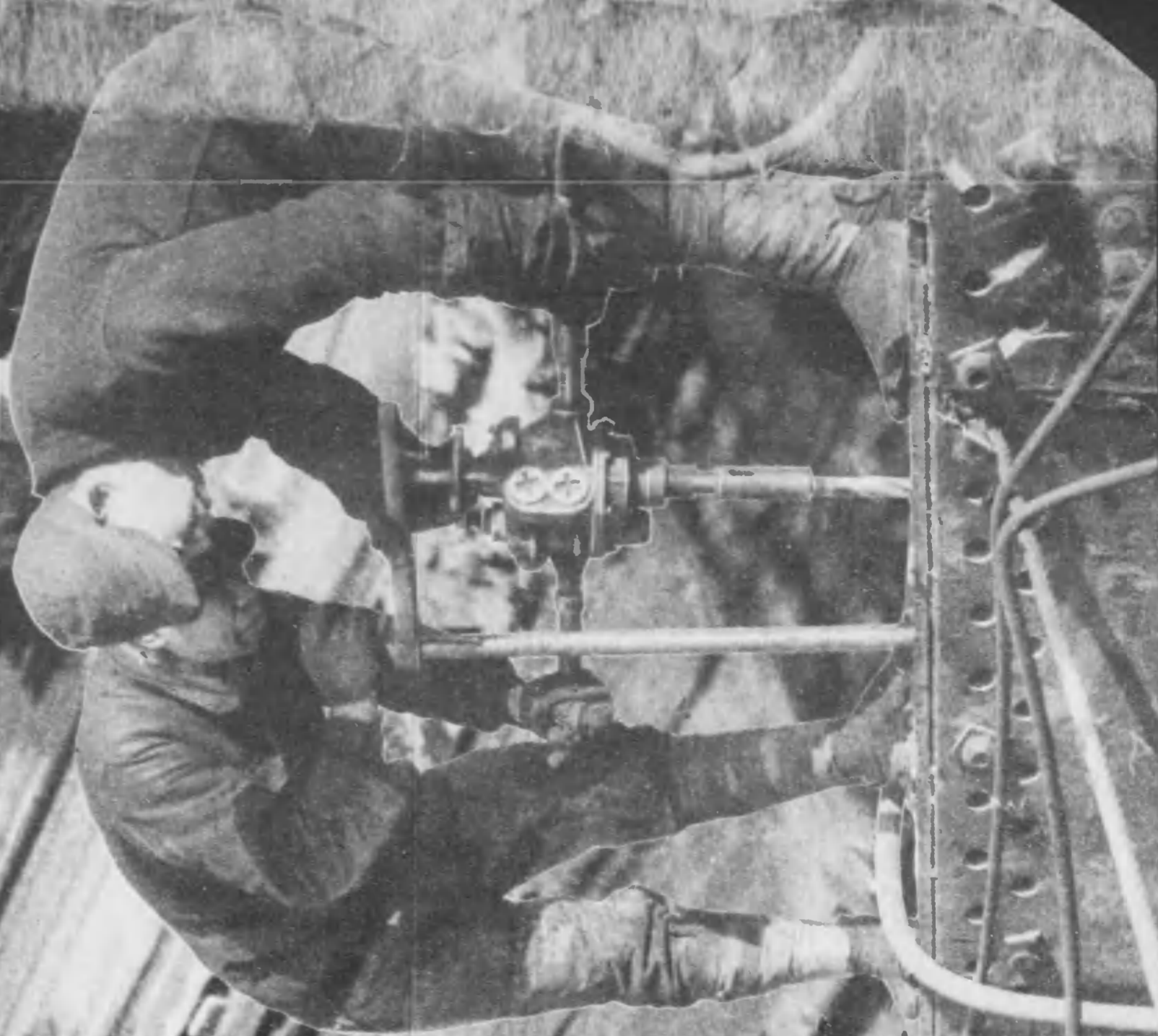


## 「足」の査察に 五島逋大臣を視察

實施された「足」の非常措置の結果はどうかと、帝部の六六六の買収を視察  
 逋大臣はたまのやうな感想を發表した「...現在のやうな買収が今後も繼  
 續される買収は、形式的な買収はあつても國民の自衛力も田舎な  
 運行ができると思ふ」上野驛にて左端、五島逋大臣（四月十三日）

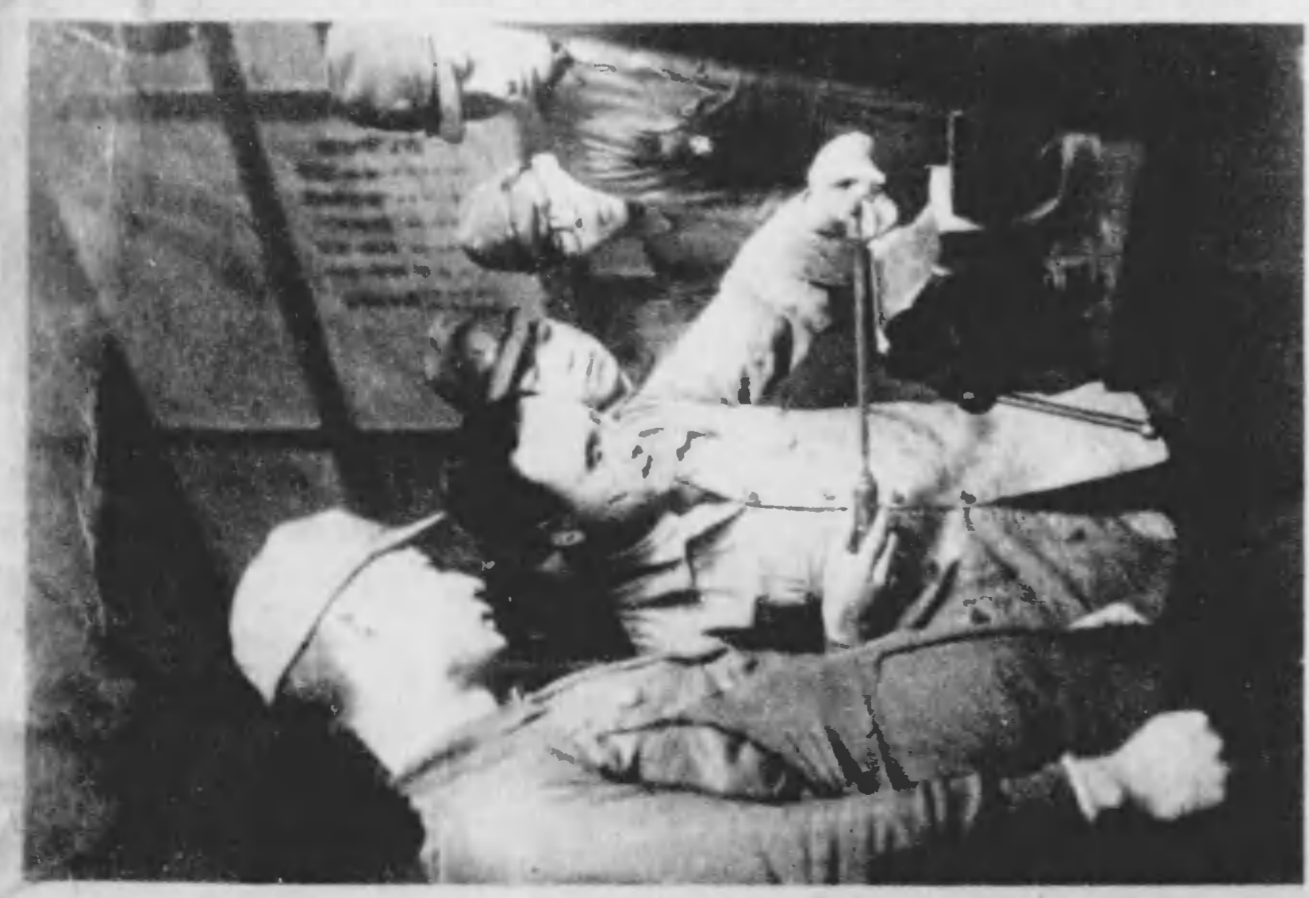


船を造るから始



# 整頓

く、に敵の野望を砕く一つの道が  
ある  
船だ、船だ、船だ、船を造らう  
この船は鐵をはこんでくる  
この船は油をはこんでくる  
この船はボーキサイドをはこんで  
くる  
この船はつばものを、彈丸を、飛  
行機をつんで、まっしぐらに戦ひ  
の海をゆく  
この船は敵艦を越え、敵岸をよみ  
つて、遠征のスコールをつき  
開く日ごとく、とろろの軌跡をひく  
船だ、船だ、船を造らう



ちがて敵をやつつける新兵器の設  
 計もつばに基きだすのだと、コン  
 パスを操る手つきも確りと 上右  
 間もなく電気技術者で、戦線でも電  
 兵をつた自分には殆んど習熟はあり  
 ません 上中  
 どこの工場でも傷痍軍人といへば大  
 歓迎です。傷痍軍人だけの大工場も  
 すでに操出できております 上左

こゝでは、仕上げ、旋盤、洋灰、  
 藤細工、家具、陶物、製陶、電気、  
 計理等のいろいろの職業が教育され  
 又補修生は殆んど全部が寮に入つて  
 技能を修業するかたは、自己の向  
 上と、きびしいしかも明るい日を送  
 っております

四月二十四日から二十九日までの  
 六日間は「軍人援護調強週間」です  
 これは全国各地でこれを機会に傷  
 痍軍人の人々や、遺家族への感謝を  
 一層あらたにしよとの催しです  
 わたしたちは日々再起の日にそな  
 へていそがしい傷痍の人々を、東京  
 都小石川區大塚の財団法人傷痍軍人  
 職業補導所修成社になつてみませ  
 う

お國のために傷つた兵隊さんと  
 そは私たちの生きたかゝみです。傷  
 や病が治ると、もうむかしのけし  
 い闘志をひとすちに少しでも戦力の  
 増強にと田園に工場にはたらいてお  
 るのです。また、まだこれまでにな  
 らない兵隊さんは再起の目をぞか  
 なから、日々精神の治癒にまた、技  
 術の習得にいそしんでおります

# 増産の戦列

日九十三一四四十二月四  
 間週調強護授人軍四



菜香の裏には、  
 とぶしの花がに  
 ほつておます。  
 授養の後のひと  
 時を親友と戯ひ  
 の想ひ出にふけ  
 ります



# 身代わりは戦力資源



手許にある金を貯金するなり、負債を買ふなりすれば、購買となり、飛行機となるけれどもそのまゝ貯蓄の底にしまひ込んでおいたのでは少しもお國のお役にたてない。物ももちやうど同じことで、毎日使つてゐる物も使ひ棄すと廢品となり、或ひは不用品になる。衣類の着、靴の履、食料の食、ガラスのかけらなどは、家庭の邪魔になるばかりだが、供出して活用すれば立派な戦力資源となる。

例へば電球である。きれいな電球は使ひみちがないが、口金二個で小さな電球の電光二個ができる。またそのガラスを再生すれば、すぐ飛脚兵器の原料となる。新しくガラスを造るには、海外から仰いでゐる砂やソーダ灰のやうな原料があるが、再生ガラスを利用すれば、これらの原料を海外から輸送に要する輸送力を作業上の必要方面に廻すことも出来るのである。原料がなくすのみ、その上ガラス製造の風動をよくする特性をもつてゐるから燃料の節約にもなる。またから考へると、ガラスのカケラ一片でも粗末には出来ない。

しかもこれはガラスに限らない。紙でも同じことで、紙屑を燃したり捨てたりせず、再生紙の原料とすれば、パルプの節約ひいては原木の節約となる。紙の原料は、船や飛行機の資材であるが、木、草、竹、とど松などの北方材だから、紙屑を再生紙の原料に廻す努力だけで、わがらにして木造船や木製飛行機を増産したことになる上に、パルプを紙にするための原木の輸送や、パルプ製造に使ふ石炭、努力が一度

に節約される。敵國では紙を燃やすと犯罪になる。またドイツでは一九三七年に百万トンの紙屑を回収したが、これは三百三十万立方メートル分の原料に當り、實にベルリンからオランダのアマ

に節約される。敵國では紙を燃やすと犯罪になる。またドイツでは一九三七年に百万トンの紙屑を回収したが、これは三百三十万立方メートル分の原料に當り、實にベルリンからオランダのアマ

- ▲アルミ製品
  - 蒸餾機、金機、金機、金機
  - 水筒、電筒、コップ、玩具
- ▲鋼製品
  - 銃、銃、銃、銃、銃
  - 銃、銃、銃、銃、銃
  - 銃、銃、銃、銃、銃
- ▲ガラス
  - ガラス、窓ガラス、所
  - 各種電球、電球
- ▲銅
  - 各種電機、電機、電機
  - 各種電機、電機、電機
- ▲鉛
  - 各種電機、電機、電機
  - 各種電機、電機、電機
- ▲錫
  - 各種電機、電機、電機
  - 各種電機、電機、電機
- ▲亜鉛
  - 各種電機、電機、電機
  - 各種電機、電機、電機
- ▲鉄
  - 各種電機、電機、電機
  - 各種電機、電機、電機

スタスタに運ぶ二キロの森林を伐採するのと同じ量だといはれる。かきりに懸命の努力でドイツは戦前の七割を回収してゐるが、わが國の回収率は(昭和十五年)僅かに二割五多程度といはれてゐるほどで、まだこの點では決して生活に構へてゐないといふより、ことに食糧は精練に莫大な費用と時間と努力がかかるから、どんな廢品でも原價



かからしくなくして、むしろ戦力資源である。例へば紙屑から鋼を造るのときは、所産原料の重量だけでも、一割五の割合といはれる。そのほかの金属では、原屑から造る場合と屑から再生する場合、生産費がアルミニウム〇・四一割、〇・三〇アンチモニー〇・四四割、〇・五三銅〇・三八割、〇・三三といふ。だいたい四十五割も節約される。つまり生産費が節約されるだけ、燃料、動力、輸送力、努力などが節約される上に軍備生産が増進されて総合戦力が生み出されるわけだ。

今までの廢物利用は、メリンスの古布をバタキにするといふやうな、自分の利益に眼があたりた。しかし決戦下の廢物利用は、メリンスを一日も早く軍需の再生原料とすることでなければならぬ。

いま飛行機二機を造り上げるためには、銀合金なら材料の四割、銅、特殊鋼なら六割四分、鋼、銅合金なら七割八分の断ち屑や削り屑がやむを得ず出てくるといはれる。しかしその屑を屑にしては申請がない、お上に送すべき材料だといふので、飛行機工場では「屑」を名をわけ、忙しい工程の間にも、それと分けて回収し、再生して飛行機にしてゐるほどで、全く

## 五五五

五五五のマッチは、戦時中の必需品として、多くの人々に愛用されています。その品質の高さと、燃焼の安定性が、戦場の厳しい環境でも、あなたの安全を確保します。

り、また元々、物にはおよそ寿命がある。電球品なら約三〇年、羊毛製品なら約一〇年、アルミニウム製品なら約五年と使へば、そのまゝでは使へなくなるといはれる。かうした原を放つておかずに再生させ戦力化させることが決戦家庭の義務である。

ではどうすればよいか――

もちろん特に必要な時には、個個特別回収のやうに、政府が特別の措置を講ずるから進んで、出してしりする。このほか本生から家庭の屑や廢品、不用品は、粗末にしないで、屑屑に捨てればよい。屑屑に捨てた金属屑の屑、紙屑、ガラスの他の破損品、ガラス屑、ゴム屑、セルロイド屑などは、一めぐりめぐつて一つに集められ、國家の必要な方面に振り、立派な戦力資源となつてゆく。

たゞ近頃では、買出人の屑屑が各家庭にたまにしかゆかないこともあるので、目下八大都市に運送回収團體が買出人の職域を公道で行つてゐるが、かうした時には、屑屑を区分するといふやうな煩雜な意味でなく、一枚の紙屑でも戦力とするやうにつとめて置きたい。さらにはたとへば買出人が来なくても、隣組単位なり同会単位なりで廢品を集め、地元の買出人を呼んで持ち寄るといふやうに積極的に協力することが望ましい。

「五五五」のマッチは、戦時中の必需品として、多くの人々に愛用されています。その品質の高さと、燃焼の安定性が、戦場の厳しい環境でも、あなたの安全を確保します。

「五五五」のマッチは、戦時中の必需品として、多くの人々に愛用されています。その品質の高さと、燃焼の安定性が、戦場の厳しい環境でも、あなたの安全を確保します。

## 電氣眼

電氣眼は、戦時中の必需品として、多くの人々に愛用されています。その明るさと、長寿命が、戦場の厳しい環境でも、あなたの安全を確保します。

電氣眼は、戦時中の必需品として、多くの人々に愛用されています。その明るさと、長寿命が、戦場の厳しい環境でも、あなたの安全を確保します。

電氣眼は、戦時中の必需品として、多くの人々に愛用されています。その明るさと、長寿命が、戦場の厳しい環境でも、あなたの安全を確保します。

